

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 29 号

第 29 週 (7月13日 ~ 7月19日)

発行年月日:平成21年(2009年) 7月23日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

**滋賀県内の新型インフルエンザ確定患者の発生は103例
腸管出血性大腸菌感染症の発生は今年になって4例目**

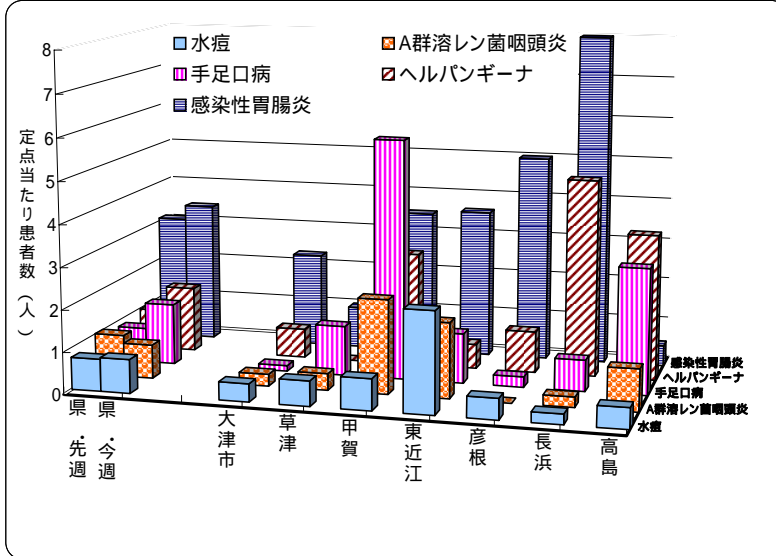
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりかなり多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、手足口病、ヘルパンギーナ等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

新型インフルエンザについては、先週に引き続き届出患者数が急増しています。(発生状況については下記グラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、手足口病では甲賀で、ヘルパンギーナでは高島で警報発生基準値を超えています(今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、四類感染症のレジオネラ症で1名の届出がありました。

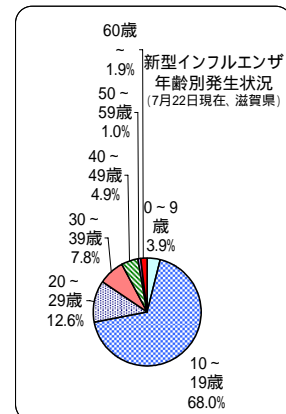
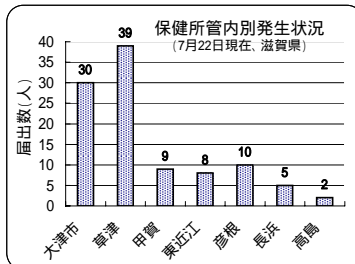
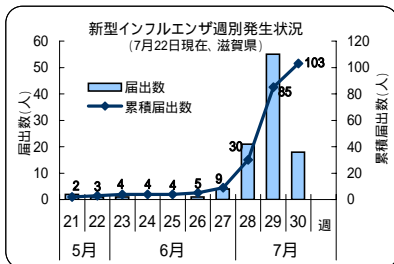
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第29週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、A群溶レン菌咽頭炎、水痘の順に多くなっています。

ヘルパンギーナは長浜および高島で多くなっています。手足口病は甲賀および高島で多くなり、特に甲賀で急増しています。水痘は東近江でやや多くなっています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況



滋賀県における確定した患者の発生状況は、上記グラフのとおりです。性別では男性68名、女性35名です。また、年齢別では10~19歳で70名となり最も多くなっています。

全国における確定した患者数は4,433人(7月22日、11時現在)で、男性2,525人、女性1,908人となっています(厚生労働省提供資料より)。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (29週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (29週)	全国 (29週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	7	151	14,301	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	94	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	4	1,270	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	26	0	43
	A型肝炎	0	0	74	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	35	2	104
	マラリア	0	0	27	1	56
	レジオネラ症	1	4	351	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	451	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	118	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	67	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	72	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	4	815	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	44	1	76
	梅毒	0	0	405	5	839
	破傷風	0	2	58	5	123
	急性脳炎	0	1	116	1	190
	風しん	0	2	105	2	309
	麻しん	0	1	491	39	11,015

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第29週(7/13～7/19) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 279例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 138例	細菌性赤痢 3例	四類感染症: A型肝炎 1例	エキノコックス症 1例	つつが虫病 1例	四類感染症: オウム病 1例	日本紅斑熱 3例	レジオネラ症 12例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	梅毒 5例	破傷風 1例	麻しん 19例	急性脳炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 16例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例	ウイルス性肝炎 3例
-------------	----------------	-------------------------	----------	----------------	-------------	----------	----------------	----------	------------	------------------	-------	--------	---------	---------	-----------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第24～29週、6/8～7/19)

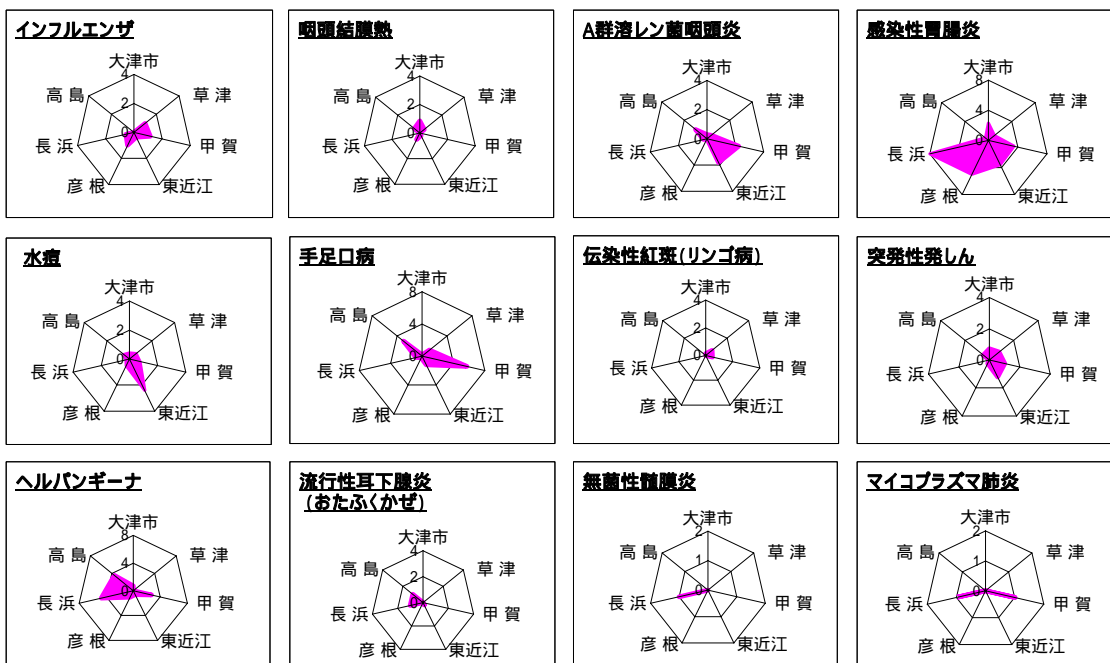
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	24週	25週	26週	27週	28週	29週	週				
	(6/8～)	(6/15～)	(6/22～)	(6/29～)	(7/6～)	(7/13～)	25	26	27	28	29
インフルエンザ	0.27	0.15	0.08	0.08	0.31	0.60					
RSウイルス感染症	0.03	0.03	0	0	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.26	0.35	0.32	0.42	0.58	0.39					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.06	1.58	2.03	1.35	1.00	0.81					
感染性胃腸炎	4.94	4.71	3.94	3.48	3.06	3.42					
水痘	0.87	1.35	0.71	1.19	0.77	0.81					
手足口病	0.35	0.61	0.39	0.71	0.84	1.48					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.13	0.10	0.16	0.13	0.19					
突発性発しん	0.32	0.48	0.35	0.58	0.55	0.68					
百日咳	0.06	0.03	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.32	0.32	0.71	0.84	0.97	1.58					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.52	0.55	0.55	0.45	0.42	0.23					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.25	0.13	0	0.13	0.25	0					
細菌性髄膜炎	0.14	0	0.14	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.43	0.29	0.14	0.29	0.29	0.29					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第29週、7/13～7/19)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.60	0	1.00	1.14	0.38	1.00	0.57	0	■
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.39	0.86	0.40	0	0.20	0.50	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.29	0.40	2.25	1.80	0	0.25	1.00	■
感染性胃腸炎	3.42	2.29	1.00	3.50	3.60	5.00	8.00	0.50	■
水痘	0.81	0.43	0.60	0.75	2.40	0.50	0.25	0.50	■
手足口病	1.48	0.14	1.20	5.75	1.20	0.25	0.75	3.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.14	0.60	0.50	0	0	0	0	■
突発性発しん	0.68	0.71	0.80	1.00	1.20	0.25	0	0.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.58	0.71	0	2.75	0.60	1.00	4.75	3.50	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.23	0	0	0	0.20	0	1.00	1.00	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	■
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	1.00	0	0	1.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



トップページに
戻る

(3)今週の発生状況

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第29週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
手足口病											
定点当たり患者数(人)	1.48	0.14	1.20	5.75	1.2	0.25	0.75	3.00	5.00	2.00	-
ヘルパンギーナ											
定点当たり患者数(人)	1.58	0.71	0	2.75	0.60	1.00	4.75	3.50	6.00	2.00	-

★ 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。
 ★ 注意報発生基準値を超えています。

* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

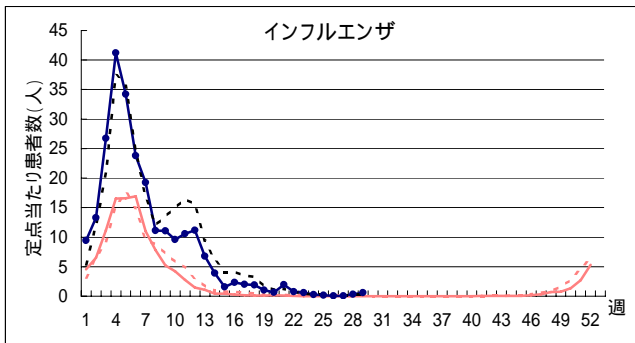
流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

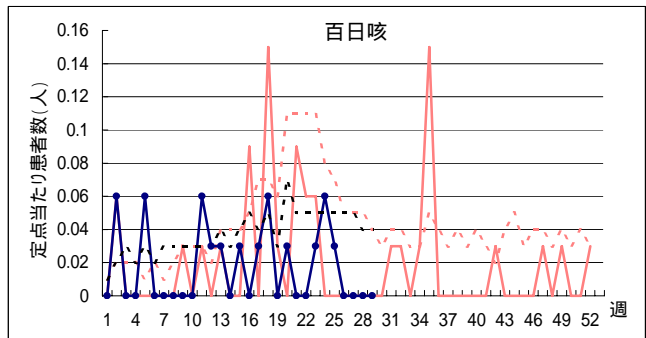
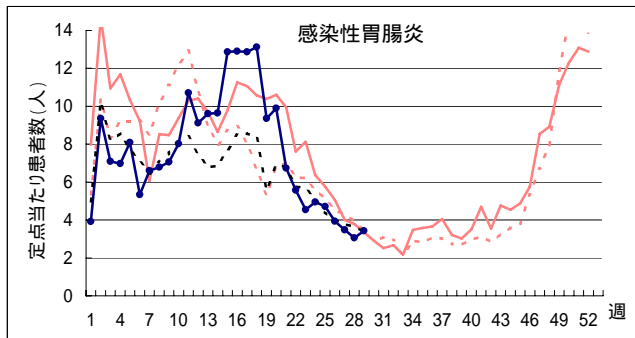
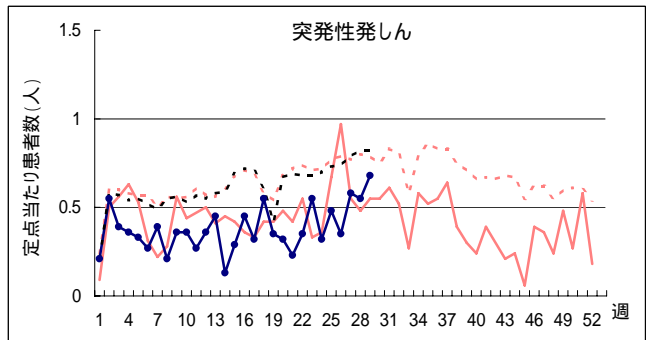
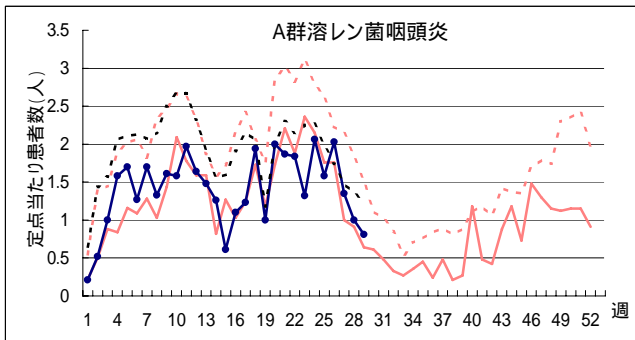
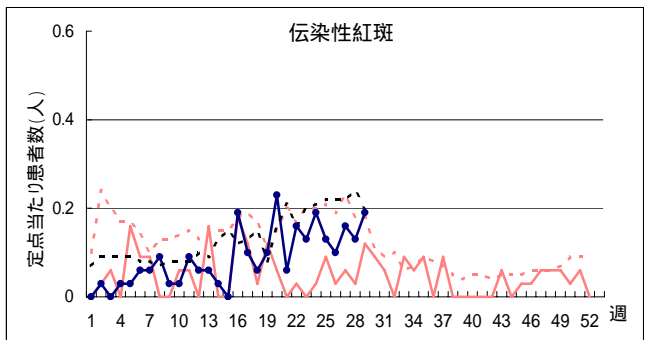
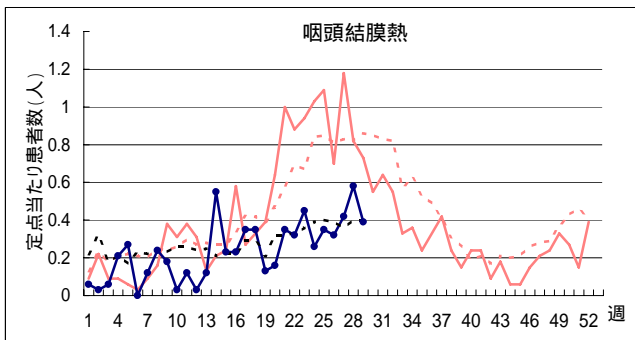
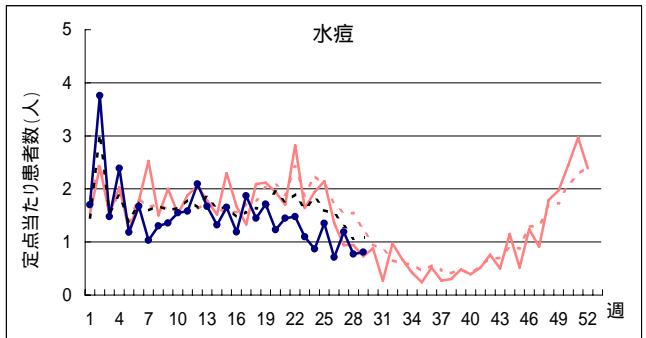
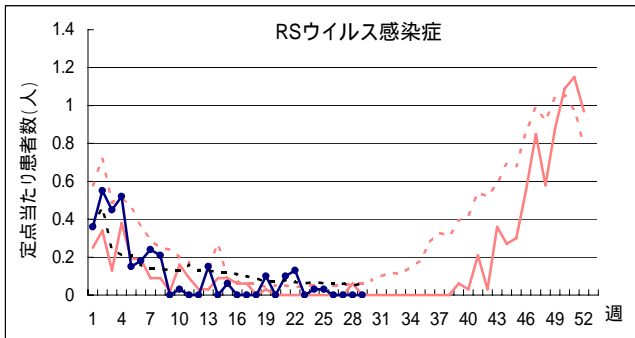
流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

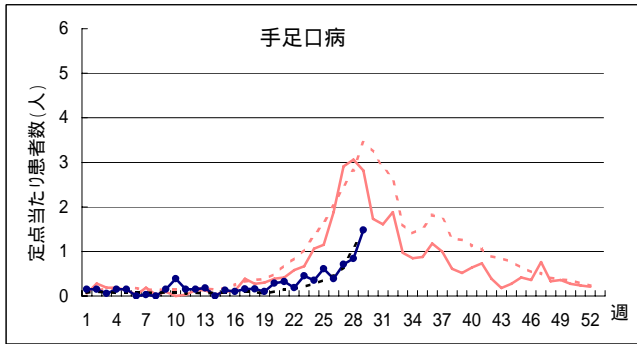
疾病別定点当たり患者数(平成21年第 29 週、H19.12.29 ~ H21.7.19)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第29週、H19.12.29~H21.7.19)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -

